

## 執筆者紹介

高久 健二（たかく けんじ） 専修大学文学部教授

韓国・東亜大学校大学院史学科博士課程修了

【著書・論文】『楽浪古墳文化研究』（学研文化社 1995年）、「韓国の倭系遺物」（『国立歴史民俗博物館研究報告』第110集 2004年）、「楽浪・帯方郡塹室墓の再検討」（『国立歴史民俗博物館研究報告』第151集 2009年）

土生田 純之（はぶた よしゆき） 専修大学文学部教授

関西大学大学院文学研究科修士課程修了

【著書・論文】『日本横穴式石室の系譜』（学生社 1991年）、『黄泉国の成立』（学生社 1998年）、『古墳時代の政治と社会』（吉川弘文館 2006年）、『古墳学入門』（編著 学生社 2003年）、『古墳時代の実像』（編著 学生社 2008年）、『文化遺産と現代』（編著 同成社 2009年）、『東日本の無袖横穴式石室』（編著 雄山閣 2010年）、『古墳』（吉川弘文館 2011年）

劉 呆運（Liu Dai-yun） 陝西省考古研究院隋唐考古研究部長

中山大学人類学系考古学専攻卒業

【著書・論文】『唐节愍太子墓发掘报告』（北京科学出版社 2004年）、『少陵原西周墓地（上下）』（北京科学出版社 2009年）、『重庆库区考古报告集 1997』（北京科学出版社 2001年）、『重庆库区考古报告集 2000』（北京科学出版社 2007年）、『重庆库区考古报告集 2001』（北京科学出版社 2008年）  
「陝西北周墓葬述略」、「唐节愍太子墓出土文物的初步研究」、「西安南郊唐代墓地的发掘与研究」、「西安南郊唐代华钗、花簪的出土与初步研究」、「从西安地区唐墓出土胡人武士俑看胡人在唐代的历史地位」

三宅 俊彦（みやけ としひこ） 専修大学文学部兼任講師

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了

【著書・論文】『中国の埋められた錢貨』（同成社 2005年）  
「中国窖藏錢の諸問題—宋・元・明を中心として—」（『考古学雑誌』第88巻第3号 2004年）、「10-13世紀の東アジアにおける鉄錢の流通」（『日本考古学』第20号 2005年）、「ベトナムからみた中近世東アジアの錢貨流通」（『物質文化史学論聚』2009年）

高 兵兵 (Gao Bing-bing) 西北大学国際文化交流学院副院長・教授

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士 (文学)

【著書・論文】『雪・月・花—由古典詩歌看中日審美之異』(三秦出版社 2006年)、翻訳 後藤昭雄『日本古代漢文学與中国文学』(中華書局 2006年)

「菅原道真の比喻表現と和歌一日中詩歌比較の視角から」(『和漢比較文学』32 2004年)、「菅原道真の住まいと白居易—平安京宣風坊邸と洛陽履道里邸」(『白居易研究年報』6 2005年)、「菅原道真詩文における「残菊」をめぐって—一日中比較の視角から」(『日本研究』32 2006年)、「菅原道真の〈贈物詩〉をめぐって」(学会創立四十周年記念中古文学会賞受賞論文 『中古文学』78 2006年)

浜田 久美子 (はまだ くみこ) 国立国会図書館司書

法政大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了、博士 (文学)

【著書・論文】『日本古代の外交儀礼と渤海』(同成社 2011年)

『『本朝書籍目録』について—奥書の検討と系統整理—』(阿部猛編『中世の支配と民衆』同成社 2007年)、「渤海との文化交流—領客使と漢詩文—」(『東アジアの古代文化』136 2008年)

山内 晋次 (やまうち しんじ) 神戸女子大学文学部准教授

大阪大学大学院文学研究科博士課程修了

【著書・論文】『奈良平安期の日本とアジア』(吉川弘文館 2003年)、『海域アジア史研究入門』(共編著 岩波書店 2008年)、『日宋貿易と「硫黄の道」』(山川出版社 2009年)

矢野 建一 (やの けんいち) 専修大学文学部教授

立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学

【著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』(共著 朝日新聞社 2005年)、『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著 汲古書院 2007年)、『長安都市文化と朝鮮・日本』(共編著 三秦出版社 2008年)

「井真成研究—その後の研究動向によせて—」(『人文科学年報』37号 2007年)、「中国における入唐留学生研究の動向」(『人文科学年報』38号 2008年)、「遣唐使の派遣と春日山祭祀」(『東アジア世界史研究センター年報』1号 2008年)

鈴木 靖民 (すずき やすたみ) 國學院大學文学部教授・横浜市歴史博物館館長

國學院大學大学院文学研究科博士課程単位取得退学、博士 (文学)

【著書・論文】『古代対外関係史の研究』(吉川弘文館 1985年)、『倭国と東アジア』(吉川弘文館 2002年)、『古代日本の異文化交流』(勉誠出版 2008年)、『円仁とその時代』(高志書院 2009年)、『日本の古代国家形成と東アジア』(吉川弘文館 2011年)、『円仁と石刻の史料学』(編著 高志書院 2011年)

葛 継勇 (Ge Ji-yong) 中国・鄭州大学副教授、アジア太平洋研究センター主任  
中国・浙江大学文献学研究科博士課程修了、文学博士

【著書・論文】「井真成墓誌を巡っての諸問題」(『遣唐使・井真成の墓誌』 ミネルヴァ書房  
2006年)、「渡来系万葉歌人妙観の苗字と出自」(『万葉古代学研究所年報』第七号  
2009年)、「なぜ法進が福州に遣わされたのか——鑑真東渡ルートについての試論」  
(『東亞視域与遣隋唐使』 光明日報出版社 2010年)、「鑑真東渡と舟山列島」  
(『揚州大学学报(人文社会科学版)』2011年2期)、「円仁石刻についての諸問題」  
(『円仁と石刻の史料学』 高志書店 2011年)

土屋 昌明 (つちや まさあき) 専修大学経済学部教授  
國學院大學文学研究科博士課程満期修了

【著書・論文】『神仙幻想』(春秋社 2003年)、『道教美術の可能性』(共編 勉誠出版 2010年)、  
『書の総合事典』(共著 柏書房 2010年)  
「開元期の長安道教の諸問題—金仙・玉真公主をめぐる」(王維坤・宇野隆夫  
編『古代東アジア交流の総合的研究』国際日本文化研究センター共同研究報告  
2008年)、「唐代道教の文字観」(『専修大学人文科学研究所月報』第249号 2011年)

飯尾 秀幸 (いいお ひでゆき) 専修大学文学部教授  
東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『中国古代社会史論』(共訳 名著刊行会 1997年)、『中国史のなかの家族』(山  
川出版社 2008年)  
「中国古代の法と社会」(『岩波講座 世界歴史』第5巻 岩波書店 1998年)、  
「中国古代における個と共同性の展開」(『歴史学研究』729号 1999年)、「中国国  
家史研究は進んだか」(『歴史学研究』782号 2003年)、「中国古代における人の  
移動とその規制に関する基礎的研究」(『専修大学人文科学年報』37号 2007年)

荒木 敏夫 (あらか としお) 専修大学文学部教授  
東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻(博士課程)退学

【著書・論文】『可能性としての女帝—女帝と王権—』(青木書店 1999年)、『日本古代王権の研  
究』(吉川弘文館 2006年)、『日本の女性天皇』(小学館 2006年)